

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年11月20日

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C			
横断的な課題	北アルプスの雄大な自然と安曇野の田園風景を活かした観光振興							
地域重点政策	四季折々に訪れ、北アルプスと安曇野の自然を満喫できる観光地域づくり						北アルプス地域振興局	
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	商工観光課		
事業名	北アルプス山麓観光大学開催事業				電話	0261-23-6523(直)		
				E-mail	kitachi-shokan@pref.nagano.lg.			
事業概要等	目的 (目指す姿)	「withコロナ時代の観光を考える」をテーマに観光大学を開催し、地域で観光業に携わる関係者の皆様のスキルアップの機会とする。						
	現状と課題	当地域の基幹産業である観光業は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて未曾有の危機に瀕しており、その早急な復興が大きな課題となっている。こうした状況の中、これからの観光誘客の戦略やインバウンドの復興策について議論することにより観光業復興の契機とする。						
	内容 (変更後の内容)	日時: 10月25日(日) 14:00~16:00 場所: 大田市文化会館大ホール ○基調講演「Withコロナ時代の訪日観光客誘致」 長野県松本空港国際化特別顧問 恵崎 良太郎 氏 ○講演「今後の長野県の誘客促進施策について」 長野県観光部観光誘客課長 大槻 覚 氏 ○パネルディスカッション「withコロナ時代の観光戦略のポイント」 コーディネーター 長野県議会スキー索道振興議員連盟 会長 宮澤 敏文 氏 パネラー① 信州アルプス市場 代表取締役社長 鹿田 均 氏 ② エバーグリーンアウトドアセンター デビッド エンライト 氏 ③ 恵崎 良太郎 氏【基調講演者】 ④ 大槻 覚 氏【講演者】						
	事業期間	令和2年10月			～	令和2年10月		
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考				
	第5回北アルプス山麓観光大学	・基調講演 ・講演 ・パネルディスカッション	113,125	基調講演者、パネラー 報償費: 42,400円 旅費: 13,630円 需用費: 6,000円 使用料: 51,095円				
	合計		113,125					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	地域の観光関係者の参加者数		50名	110名	● 達成			
					○ 一部達成			
					○ 未達成			
事業実績・成果	(事業実績) 宿泊、索道、飲食などの事業者や行政、議会など地域の観光振興に携わる者110名が参加。 ○基調講演(恵崎 良太郎 氏) ○県の施策に関する講演(大槻観光誘客課長) ○パネルディスカッション(恵崎氏、大槻課長、鹿田均氏、デビッドエンライト氏、コーディネーター宮澤敏文県議)							
	(事業の成果) 基調講演、パネルディスカッションを通じて、withコロナ時代の観光振興の道筋を地元観光事業者らに提示することができた。 県の観光誘客施策についても同様に地元観光事業者らに周知を図ることができた。 今回は、「北アルプス山麓ブランドの日」イベントと共催の形をとったことにより、イベントの規模が拡大したが、結果的に多くの参加者を得ることができた。							
今後の方向性	当地域の基幹産業の一つである観光業の振興のため、今後も時宜にあったテーマを選定し、開催したい。							